

薄磯地区防災緑地ワークショップ

かわらばん 第3号



平成 25 年7月6日(土)に、いわきニュータウンセンタービルにて「第3回 薄磯地区防災緑地ワークショップ」が開催されました。前回に行なわれた6月15日(土)の第2回ワークショップでは、「防災緑地のイメージを高めよう」と題して、予め事務局側で用意したプラン(案)をもとに、長所や短所を考え、防災緑地の整備の方向性についてまとめていきました。また、廣瀬先生の講話を頂戴した上で、津波被災の伝承方法についても意見交換を行いました。

これらを踏まえ、第3回目では「防災緑地のイメージを固めよう」と題して、平面検討図の確認および植栽の検討、後世への伝承方法、運営管理等についてグループ毎に意見交換を行いました。当日は24名の地域に皆さまに参加していただき、活発な意見交換を行なうことができました。今回もかわらばんにて、その様子をお伝えします。

当日の流れ

①本日の説明



いわき建設事務所および薄磯区の区長より開会のあいさつがあり、その後、ファシリテーターより今回のワークショップの進め方と今後のスケジュールおよび内容について説明がありました。

②前回のおさらいと情報提供



前回の意見についてのおさらいを行いました。比較検討案を基に、防災緑地の整備の方向性について検討したことや、廣瀬先生の講話を基にした津波被災の伝承方法について、皆さまから出された意見の集約結果などを説明しました。

③木田先生による講話



樹木医の木田先生より「薄磯地区の身近な樹木について」と題し、この地域における植生や樹種、防災緑地と地域の関連について講話をいただきました。

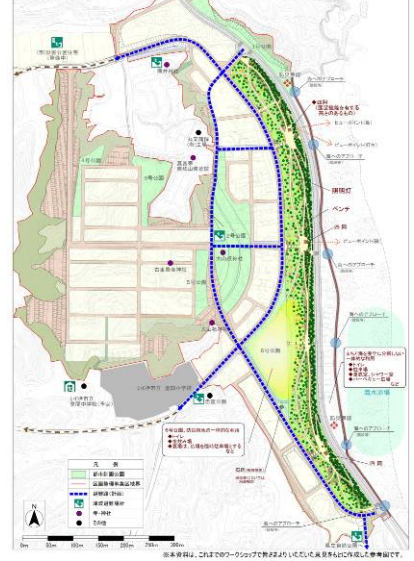
④意見交換と全体発表



事務局にて用意をした防災緑地の平面検討図もとに、内容の確認、施設の配置や植栽に関する検討、さらに津波被災の伝承方法の検討などについて意見交換を行いました。意見交換の後に、各班の代表者による検討内容の発表を行い、班の中で話し合った内容について共有化を図りました。

全体発表後、本日のワークショップについて、東北芸術工科大の廣瀬先生より講評をいただきました。

第3回ワークショップで使用した平面検討図



植栽検討資料

各グループの主な意見と、意見交換・全体発表の様子



Aグループの主な意見

【平面図の確認】海水浴シーズンに対応できる防災緑地であること／海岸へ降りる階段・道路を増設する／下水・雨水処理の設備を整備

【植栽検討】案①（彩り優先案）がよい／北風のために松しか育たない／防災緑地や2号・6号公園に慰霊のための植栽を植える。できれば、3/11頃に花が咲き、それで慰霊ができればよい／四阿は観光地としての事を考えて作らなければならない

【後世への伝承方法】伝承とイベントのために6号公園を活用／石碑や旧中学校の何かを残す

【運営・管理】薄磯地区として委託されて防災緑地の管理を行い、それが無理であるならば、県の方で考えてもらう



Bグループの主な意見

【平面図の確認】まずは早く防潮堤防をつくる／高台に半鐘を設置／避難場所へのサインや誘導灯／多目的に使える園路／児童の日常的な体力づくり使用／スロープアプローチは海水浴用の駐車場近くに。

【植栽検討】居住地側植栽プラン-①（彩り案）とプラン-②（管理優先案）の折衷案／常緑で手があまりかからない植栽／花も多少は必要／居住地側は低木や地被／海側の植栽はクロマツ林／歩きやすさと防災緑地としての植栽密度／ハナミズキ、ヤマモモ、ヤマボウシ等／ヤシやシュロ、シバザクラ

【後世への伝承方法】お盆に伝承のための催しを毎年行う／催しを行うこととなった経緯も合わせて伝承する／絵馬／慰霊碑の設置。（具体的な場所は特にない）

【運営・管理】実のなる木を植栽した場合、植栽管理は誰がやるのか。自分たちだけでは厳しい

【その他意見】避難場所に食糧等の備蓄品を常備／賞味期限に注意して定期更新する



Cグループの主な意見

【平面図の確認】プランを考える際の懸念（防災緑地活用の自由度、管理する範囲を検討）／一号公園へトイレを設置／「海へのアプローチ」の箇所には全てスロープ／永崎海岸のような階段／「海へのアプローチ」における車いすへの配慮

【植栽検討】海側のマツの効果については要検討／海岸部の内陸寄りにはタブの木でも良い／平場側の植栽はプラン②／勝手に生え、勝手に生育する木で良い／トベラ、ビャクシンは強い／シャリンバイの植栽は要検討

【後世への伝承方法】中学校の緯度経度の石碑／中学校のモニュメント／ピアノについては管理等の検討が必要

【運営・管理】緑の維持管理の方針における行政の関わり方を示してほしい／維持管理にお金がかかるのであれば、防災緑地の緑は行政にて管理してほしい／管理の容易さを優先する

【その他】排水計画のことを説明してほしい



【事務局より】

皆さま、お疲れさまでした。
活発な意見交換ができて、とても有意義なワークショップでした。次回もよろしくお祈りします。



【お問い合わせ先】

福島県いわき建設事務所
担当：兵藤、緑川
電話番号：0246-35-6075

